

# PASS XP-25

## Phono Equalizer Amplifier



XP-25 は 1997 年発表の Xono フォノステージの後継機です。ローレベルでのノイズ低減、より精緻な解像度、より良く制動された低域を実現、電源部をセパレートし、より優れた SN 比を達成、2 系統の入力対応、またフロントでのコントロールなど魅力的な 2 シャーシのフォノイコライザーになっています。

PASS Laboratories では、Nelson Pass と、その共同デザイナー、Wayne Colburn は優れた識別力のあるアナログユーザーの為に素晴らしいいくつかのフォノステージプリアンプをデザインしてきた長い歴史、キャリアがあります。

PASS のフォノステージプリアンプの新しい化身「XP-25」は現実的に“Streaming Analog”<sup>®</sup>からの音響的陶醉のレベルの限界を押し上げました。1997 年以降、フォノステージプリアンプデザインへの信条は音楽がレコード面からリスナーの耳へと抵抗なくスムーズに流れることでした。それぞれの製品の進化の中で、音楽と芸術的意味の核心を決して忘れて、犠牲にせずより大きい詳細さと明快さをもって伝えられていなければなりません。XP-25 はその期待を裏切りません。XP-25 は数えきれない市場のアームとカートリッジの組合せのリスニングを経ています。リスニングからは測定パフォーマンス以上に数量を超えた先例を得られました。その結果、ダイナミック、瑞々しく、スムーズなサウンド、劇的なディテールと壮大な階層を実現しています。

XP-25 による再生では本当の体感としてリアルな低域を提供します。あたかも、本当のミュージシャンが我々のリクエストを受けてくれたかのように。

XP-25 はエクセレンス、適応性、便宜性の交差点上で設計されました。XP-25 は RIAA パフォーマンスを極低歪率で強化しています。XP-25 で貴方はお好きなレコードに内容の細密さ、幻のような豊かさで全く新しい次元を発見するでしょう。

XP-25 は全てのコントロール機能をフロントパネルに配し、リアパネルに 2 つの入力系統を持ちます。それぞれ、負荷抵抗、負荷容量、ゲインの切替設定がフロントパネルのロータリースイッチでノイズレスでできます。(メモリー機能はありませんのでカートリッジ切替時に設定が必要です。) XP-25 のゲイン切替ではどんな高出力カートリッジでもオーバーロードをさせないようにできます。ハイパスフィルターはサブソニックカットの為に ON/OFF 可能です。ミュート機能はピックアップの昇降をノイズレスで行なう為に便利な機能です。

フロントコントロール機能：

Resistive Loading : 30-50-100-160-250-320-500-1K-47K  $\Omega$

Capacitive Loading : 100-200-320-430-530-750pF

Gain/ ゲイン : 76-66-53dB

Input : 1-2

Hi-Pass : ON/OFF

Mute : ON/OFF

